

# 住宅気密性能評価書

1. 建築主 : 有限会社ダイゼン  
2. 建物の名称 : 様邸 新築工事  
3. 建物の所在地 : 徳島県名西郡  
4. 測定年月日 : 2022年9月28日

相当隙間面積【C値】 :  $0.14\text{cm}^2/\text{m}^2$  ※エラー発生のため参考値とする  
隙間特性値【n値】 : 1.13  
ACH : 0.3回/h

評価書交付年月日 : 2022年10月5日

測定者 : 香川県高松市寿町2-2-10  
高松寿町プライムビル6F  
日本樹環境株式会社 高松営業所

### 住宅の気密性能試験結果（1）

依頼者	会社名又は氏名	有限会社ダイゼン	電話	088-634-3725
	住所	徳島県板野郡藍住町奥野字前川112-14		

測定対象建物の概要				
建物の名称		様邸 新築工事		
所在地		徳島県名西郡		
竣工年月日		令和4年9月2日(測定日)		
構造及び工法		在来軸組工法 木造2階建		
建物の規模	地階床面積		m <sup>2</sup>	
	1階床面積	72.87	m <sup>2</sup>	
	2階床面積	52.16	m <sup>2</sup>	
	3階床面積		m <sup>2</sup>	
	延べ床面積	125.03	m <sup>2</sup> (A)	
開口部の仕様		窓-----単層(引き違い、外開き、内開き)、2重窓(引き違い、外開き、内開き)、 その他(構成と開閉方式： ) 玄関戸----引き戸、外開き戸、内開き戸、その他( )		
主な部位の気密層の仕様		防湿フィルム(気密テープ：使用・不使用)、内装材、断熱材、構造材(コンクリートなど)、その他( )		
建物概要図		別紙図面の通り。		
通気量を測定した位置		添付平面図に示す。		

測定時の建物条件				
	部 位	開 閉 状 態 等	確認	特記事項(左欄以外の処理方法)
1	建物外被にあるドア・窓	ロック(施錠)だけ	○	
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態	なし	
3	郵便受け	普通に閉めた状態	なし	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の両方を断熱している地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	目張り	○	
7	台所レンジファン	目張り	○	
8	換気扇・天井扇	目張り	○	
9	FF式以外の煙突の穴	目張り	なし	
10	屋外に通じる排水管	封水又は管口を目張り	○	
11	集中換気システムの給排気ダクトの屋外側出入口	目張り	○	
12	建物外被の外側にある開口部	普通に開けた状態	なし	
測定対象外にした部分(空間)の名称		なし		
同上で延べ床面積(A)に含まれる床面積			m <sup>2</sup> (B)	
吹き抜け・床下・小屋裏など測定対象の相当床面積		36.44	m <sup>3</sup> ÷ 2.6 m = 14.02 m <sup>2</sup> (C)	
測定対象とした建物の実質延べ床面積(S)		S = (A) - (B) + (C) = 139.05 m <sup>2</sup>		
測定対象とした建物の外被内容積		V = 361.53 m <sup>3</sup> (漏気回数を求めるときに記入のこと)		

注) 確認欄には、各状態を確認後、○印を付すこと。

# 住宅の気密性能試験結果 (2)

様邸 新築工事

測定者・測定方法・測定装置			
事業所	日本住環境株式会社	事業所登録番号	0078
所在地	東京都台東区秋葉原1-1 秋葉原ビジネスセンター9階	測定者	吉川
		登録番号	09260-24
		電話番号	03-5289-3302
測定方法	JIS A 2201(送風機による住宅等の気密性能試験方法)による。 流量及び圧力の測定は、あらかじめ校正した測定装置を使用して行った。 (測定回数や測定時の外部環境などの理由から、試験結果は参考値となります)		
測定装置	コーナー札幌(株) KNS-5000C型(管理番号:高松1、製造番号:15-5019)		

試験日時	2022年9月28日 11時00分 ~ 12時00分 まで			
測定時の環境	天候	晴れ	風速	3.0 m/S
	室内温度	27.3 °C	風向(主風向)	北北西
	外気温度	27.8 °C	風速測定位置	アメダス
			気圧	1010.6 hPa

各圧力差 ΔP(Pa)における 通気量 Q(m <sup>3</sup> /h)	測定回	1回		2回		3回	
	測定点	ΔP	Q	ΔP	Q	ΔP	Q
	1	22.3	90				
	2	32.9	139				
	3	40.7	160				
	4	51.4	203				
	5	60.4	209				

データの測定回	1回	2回	3回	平均
隙間特性値: $n(1 \leq n \leq 2)$	1.13	←左記は測定不能の為、 4×4=16cm <sup>2</sup> 穴開けて測定した数値 よって $\alpha A = 30\text{cm}^2 - 11\text{cm}^2 = 19\text{cm}^2$ (参考値とする)		1.13
通気率(ΔP=1Pa時の通気量): $a(\text{m}^3/\text{h} \cdot \text{Pa}^{1/n})$	5.9			
ΔP=9.8Paにおける通気量: $Q_{9.8}(\text{m}^3/\text{h})$	44.8			
係数: $b = 0.627 \rho^{1/2}$	0.680			
総相当隙間面積: $\alpha A = Q_{9.8} \times b(\text{cm}^2)$	30		0	
相当隙間面積: $C = \alpha A / S(\text{cm}^2/\text{m}^2)$	0.14	0.0		0.14
参考: 50Pa時の漏気回数: ACH(回/h)	0.5	0.0		0.3
50Pa時の通気量(m <sup>3</sup> /h)	190			

## 測定結果添付欄

2022年09月28日 データNo. 0007  
モード: セミオート測定 (減圧法)

相当隙間面積:  $C = 0.2\text{cm}^2/\text{m}^2$   
建物外皮の実質延べ床面積:  $S = 139.05\text{m}^2$

総相当隙間面積:  $\alpha A = 30\text{cm}^2$   
隙間特性値:  $n = 1.13$   
通気率(ΔP=1Pa時の通気量):  $a = 5.9$   
ΔP=9.8Paにおける通気量:  $Q_{9.8} = 44.8\text{m}^3/\text{h}$

室内温度: 27.3°C 係数(b): 0.680  
外気温度: 27.8°C

### 測定パラメータ

圧力差 22.3Pa	通気量 90m <sup>3</sup> /h
圧力差 32.9Pa	通気量 139m <sup>3</sup> /h
圧力差 40.7Pa	通気量 160m <sup>3</sup> /h
圧力差 51.4Pa	通気量 203m <sup>3</sup> /h
圧力差 60.4Pa	通気量 209m <sup>3</sup> /h

50.0Pa時の確定流量: 190m<sup>3</sup>/h

\*\*\*\*\* DATA ERROR \*\*\*\*\*

データが異常です。  
再度測定して下さい。

隙間特性値:  $n = 0.97$   
通気率(ΔP=1Pa時の通気量):  $a = 2.8$   
ΔP=9.8Paにおける通気量:  $Q_{9.8} = 27.8\text{m}^3/\text{h}$

圧力差 20.7Pa	通気量 82m <sup>3</sup> /h
圧力差 31.7Pa	通気量 87m <sup>3</sup> /h
圧力差 40.3Pa	通気量 129m <sup>3</sup> /h
圧力差 47.6Pa	通気量 143m <sup>3</sup> /h
圧力差 57.2Pa	通気量 167m <sup>3</sup> /h

室内温度: 26.6°C  
外気温度: 25.7°C

### 通気量-圧力差特性グラフ



